

保育園に職員が集まり、スクリーンに映して参加しています。 平和、原爆、核兵器禁止条約、憲法9条など、大人でも難しい ことを子どもたちが一生懸命受けとめて、それぞれに意見や考えを 持っていることにとても感銘を受けました。

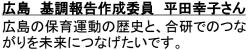
未来を生きる子どもたちのためにも、私たち大人がどんなことを学び、どのように行動していくのかが問われると思います。合研はそういったことを改めて考え直す絶好の機会です。今までとは形が変わっても、合研で全国とつながり合えることに喜びを感じながらこの後も参加します。 埼玉 ふきのとう保育園 柴岡和真さん

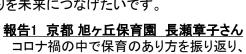
保育・子育て フォーラム

話し合いました。

コロナ禍で考える保育と私たちの未来

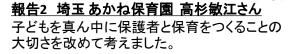
~子どもが安心して育つために、学び、つながり、みんなで一歩ふみだそう!~

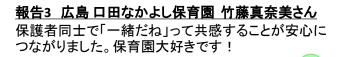




子ども主体の保育について職員間で何度も

たくさんの交流が できましたね。





ちいなかとともに ちいなかにささえられ・



人が育つうえで大事なことをじっくり考えよう 大宮勇雄氏 (福島大学名誉教授)



- ・人が育つうえで大切なこと
- ①保育は共感あふれるなごやかな育ちの場
- ②育ちは共同的で継続的
- ③「共同の時間=おしゃべり」は絶対条件。 「保育は毎日失敗と反省ばかり」と、笑顔 で話せる保育が大切。
- ④規制緩和政策をやめさせるのは今!

人間はつながりを編み出す天才 中西新太郎氏 (元関東学院大学)



集まれなくても、離れていても「一緒にいる」を確かめ合える方法はある。ちょっとしたおしゃべりや一言の積み重ねが築くつながりの力。コロナ禍は、忙しい毎日で忘れていたつながり方を見つめ直す機会。

大人と子どもが一緒になって安心して暮らせるためにつながる力を育てていく事が大切。

当たり前を問い直したら新しい保育が見えてきた 長瀬美子氏 (大阪大谷大学)

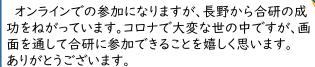


- ①たくさんの保育が「再創造」された。
- ②保育現場の努力だけにしないこと。 保護者とともに/全国の仲間とともに。 制度、処遇の改善も求めながら
- ③「学び」「つながり」は人間の本質的な願い。子どももおとなも/保育者も保護者も。



コロナ禍という一見マイナスな状況の中で 子ども・保護者に寄り添う大切さに改めて気づける プラスの面もあり、会話の機会が少なくおしゃべりの 大切さを改めて考えさせられました。子どもが本当に やりたい事を大切に保育したいと思いました。

広島 尾道あゆみ保育園 保育士



長野 保育士

ステキな話でした!オープニングから感動してます。 広島でしかできない平和の伝え方だと思います。 お母さんや保育士さんたちの話は、園の様子がよく 伝わってきました。保護者と園の信頼関係が強いか らできるんだなって、感じました。また感動しました! 茨城 中井史絵さん



コロナ禍になって、全国の保育園がどのように運営してきたのか、何に困って、悩んでいたのか、知ることができました。保護者を含め、大人同士のつながりが不安定であるとき、きっと子どもにも伝わってしまっているのではないかな、と思いました。静岡 みつばち保育園



黒子のみなさんも がんばっておられる

~ちいなか50周年企画





ちいなかと同級生の人見~つけた!

「ちいさいなかま」50周年 おめでとうございます! 50年にわたって保育の仲間たちをつなぎ 続けてきた「ちいなか」を見習って、私も 一歩ずつがんばっていきたいと思います。 ともに100周年をめざしましょう!(笑)

大阪 平沼博将さん(50歳)